

シラバス

授業のタイトル(科目名) 精神保健福祉の原理Ⅰ		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)		授業担当者 平川 泰士	
授業の回数 15回	時間数(単位数) 30時間(2単位)	配当学年・時期 2年1学期		必修・選択 選択	
【授業の目的・ねらい・到達目標】 ・精神障害者の定義と障害特性を理解し、生活実態について理解できるようになる。 ・精神障害者の歴史・理念、制度の発達について理解できるようになる。 ・障害者福祉の基本的な枠組みについて理解できるようになる。 ・精神障害者の社会的立場や処遇について学び、精神保健福祉士としての問題意識・価値観を修得できるようになる。					
【授業計画】 1 障害者福祉における思想と原理 2 障害者福祉の理念 3 障害者福祉の歴史 4 精神障害者の特性の理解とモデル(ICF・ICIDH・蜂谷モデル) 5 障害者福祉諸制度の概要と精神障害者の定義:障害者基本法、障害者総合支援法 6 障害者福祉諸制度の概要と精神障害者の定義:精神保健福祉法 7 精神障害者の社会的排除・障壁の動向:諸外国の動向 8 精神保健福祉施策の発展と出来事:精神病患者監護法、精神病院法 9 精神保健福祉施策の発展と出来事:精神衛生法、精神保健法 10 精神保健福祉施策の発展と出来事:精神保健福祉法、総合支援法 11 精神保健福祉施策の発展と出来事:医療観察法 12 近代における社会的排除・障壁の動向:偏見と人権侵害 13 近代における社会的排除・障壁の動向:優生思想・強制不妊手術 14 近代における社会的排除・障壁の動向:教育におけるメンタルヘルス 15 近代における社会的排除・障壁の動向:施設・地域におけるコンフリクト					
【使用テキスト・参考文献】 別途指定			【単位認定の方法及び基準】 講義時の指定の課題・提出物(30%)、期末試験(70%)を総合し、評価を行う。		